答え 6月29日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



佃煮の日にちなんで「佃煮（つくだに）クイズ」

【第1問】佃煮の名前のもとになった「佃島（つくだじま）」は、今のどこ？

① 大阪府　② 東京都　③ 北海道

今の東京都中央区にあった島です。徳川家康が、大阪の佃村から漁師たちを呼び寄せて住まわせたのが始まりといわれます。

【第2問】佃煮の、おもな味つけは何でしょう？

① しょうゆと砂糖　② 酢と塩　③ みそとからし

しょうゆと砂糖などで、汁がなくなるまで甘からく煮つめます。ごはんがすすむ味ですね。

【第3問】佃煮が、昔から大切にされてきたわけは何でしょう？

① 冷やすとおいしいから　② 長く日持ちするから　③ めずらしいから

しっかり煮つめるので、長く保存できます。江戸の漁師たちの保存食として生まれ、旅のおみやげとしても広まったといわれます。

【第4問】いかなごの「くぎ煮」。名前の由来は何でしょう？

① くぎで作るから　② くぎ屋さんが考えたから　③ 古いくぎに見えるから

煮あがった、いかなごが茶色く曲がって、さびた古いくぎのように見えることから名づけられました。兵庫県の春の名物です。

【第5問】長野県などで昔から食べられてきた、虫の佃煮は？

① イナゴ　② カブトムシ　③ トンボ

田んぼでとったイナゴを佃煮にして、大切なおかずにしてきました。子どものころ、イナゴとりをした方もいるのではないでしょうか。

【第6問】塩分をひかえるコツとして、よいといわれるのはどれでしょう？

① しょうゆをたっぷりかける　② めんの汁を全部飲む　③ めんの汁を残す

ラーメンやうどんの汁を残すだけでも、塩分はぐっとへるといわれます。佃煮も、少しずつ味わって楽しみましょう。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます